

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ（案）

○趣旨

中央防災会議では、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、これまで南海トラフ地震、首都直下地震について最大クラスの地震・津波を想定した防災対策の検討を進めてきた。

今般、日本海溝・千島海溝で想定すべき最大クラスの地震・津波の検討が進んだことから、これに対する被害想定、防災対策の検討を行うために、防災対策実行会議の下にワーキンググループを設置。

○論点

- ・日本海溝・千島海溝沿いで想定される最大クラスの地震・津波による人的・物的・経済的被害の想定
- ・これら想定される被害を軽減するための防災対策
- ・特に、寒冷地、積雪地特有の被害の想定、防災対策

○検討スケジュール

- ・2020年度初旬 ワーキンググループを設置
- ・2020年度中を目処にとりまとめ

○メンバー

委員	所属
◎河田 恵昭	関西大学社会安全学部・社会安全研究センター理事・センター長・教授
○今村 文彦	東北大学災害科学国際研究所副所長・教授
平田 直	東京大学地震研究所予知センター長・教授
佐竹 健治	東京大学地震研究所教授
谷岡 勇市郎	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター教授
松本 浩司	日本放送協会解説委員
福和 伸夫	名古屋大学減災連携研究センター長・教授
中埜 良昭	東京大学生産技術研究所教授
根本 昌宏	日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター 教授
片田 敏孝	東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授
田村 圭子	新潟大学危機管理室・防災復興科学センター教授
井出 多加子	成蹊大学経済学部長
丸谷 浩明	東北大学災害科学国際研究所教授
瀬尾 英生	北海道経済連合会 専務理事
鈴木 直道	北海道知事
蝦名 大也	北海道釧路市長
小林 眞	青森県八戸市長
野田 武則	岩手県釜石市長

◎：主査、○：副主査